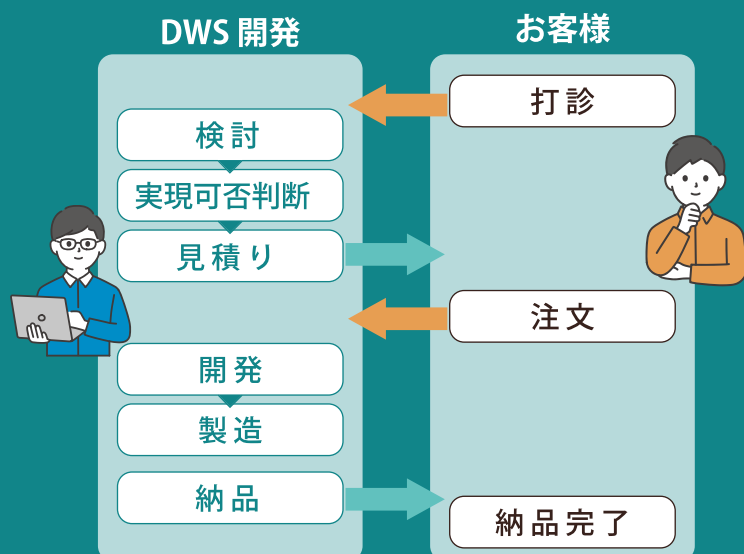


機体開発部門

機体開発の流れ



開発依頼時の具体的な作業工程です。
見積り作成前に必ず実現可否判断を挟むことで、
より角度の高い機体開発を行っています。

お客様からの各種ご要望・ご用途に合わせた機体の開発を行っております。これまでもペイロード 100kg を誇る機体や、水素燃料を使用したハイブリット機などの開発実績があります。

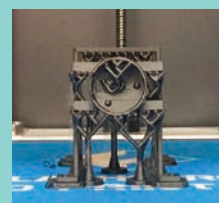
【こんなドローンが欲しい】や【こんな機能を再現できるドローン作れるか?】などご相談ください。



機体開発では 3D プリントを導入し活用しています

精度の高い工業向け 3D プリントを導入し、試作品から実際に販売している製品に使用しています。ドローンの各部材を発注する前に、寸法や機能に問題がないか 3D プリントで作成し確認しています。

プリント→評価→改良→プリント→評価→改良 ... のサイクルを効率よく回し、品質向上にも役立っています。



3D プリント成果物

機体開発担当者より



量産機的设计と、お客様のニーズに応じた特注機の開発を担当しています。「EAGLE」シリーズをはじめとする量産機では、現場で本当に使える実用性を重視し、現場の声を柔軟に反映する体制を整えています。

特注機では、大型ドローンから小型教習用ドローンまで、幅広い分野の機体を手がけるメーカーとして、弊社独自の技術を活かし、他社にはないご提案が可能です。技術力の向上に努め、提供できるソリューションの幅を広げ続けています。

製品一覧

物資搬送機

EAGLE シリーズ



重量物運搬を目的としたドローンです。中山間地域における物資搬送に利用されており、狭いエリアや難易度の高い地形での飛行を安全に行うことが可能です。最大積載量 25kg 以上の機体としては国内で初めて型式認証を取得しました。

農業／種子散布機

AGR シリーズ



農業や種子散布に特化したドローンです。畑や牧場や水田での農業 / 粒剤 / 種子の散布、山林での液剤などの散布が可能です。最大 24ℓ の大容量タンクを搭載しています。

実習用無人航空機

トレーナーエース



ドローンスクールでの実習用無人航空機として、また、空撮練習機として活用いただけます。カーボン素材を使用することでより堅牢になり、サンドイッチ構造を採用し軽量の機体です。

機体製造部門

国内で初めて最大積載量 25kg 以上の型式認証を取得し、自社工場でドローンを製造しています。物資搬送の運航や、ドローンスクールの運営にて蓄積したノウハウを製造に活かし、改善を積み重ね、品質の向上に繋がっています。

機体製造から出荷するまで

新しい機体



- ・見積書作成
- ・受注



- ・部材在庫確認
- ・必要部材の発注



- ・工程の確認
- ・出荷日の確定



受注

部材確認

工程表作成

製造

検査

出荷



- ・機体製造
- ・工程上の各種検査



- ・出荷前各種検査



- ・完成
- ・出荷

機体リペア

弊社製造の機体のリペアも行っております。機体の修理に精通した担当者がリペアするので安心してお任せください。



- ・修理依頼受注
- ・機体到着



- ・開梱し損傷具合確認
- ・修理



- ・出荷前各種検査
静的チェック、フライト
チェックなど行います。



- ・完成 / 出荷
専用のケースがあるので
梱包から着荷まで安心です。



機体製造担当者より



型式認証取得工場として出荷前検査では社内規定を設け、新規の機体は製造不備が無い、リペアの機体は修理部位が確実に修理できているか厳しく検査することを徹底し不良0を目指しています。

配線処理なども細かく確認し、安全に運航ができるよう製造しています。また、製造エリアの環境を整えるよう、整理整頓の維持・継続に努めています。

国産ドローンの製造メーカーとして、今後もお客様に期待頂ける製品を提供し続けていきます。

製品一覧

重量物搬送実験機

EAGLE100



100kg の重量物を運搬するための実験機です。機体構造の剛性や飛行特性を検証する目的で開発しました。重量物への対応として、推力の安定確保と冗長性を重視し、8基のモーターを搭載した OCTA 型構成を採用しています。

多機能総合機

フェニックス



機体下部のユニットを取り換えることで、農薬 / 種子散布・物資搬送どちらにも対応する二刀流ドローンです。散布用は最大 30ℓ の大容量タンクを搭載し、運搬は最大 30kg まで搬送が可能です。

水素燃料機

ハイブリッドドローン



水素燃料を用いたドローンを開発、製造しました。機体上部には 2 つの水素用タンクを設置し通常のリポバッテリーの電力を補う形で電力を供給します。「水素燃料」を使用したドローン開発の貴重な経験となった機体です。